

コロナから市民のいのちを守る 市の責任ある危機管理体制を

愛西民報

2023年
2・3月
第74号

日本共産党
愛西市委員会

〔発行責任者〕 加藤敏彦委員長 〔市議会議員〕	090 9122 3669
河合 克平議員	090 8333 3481
真野 和久議員	090 4198 4516

愛西市12月定例議会の内容について報告します。
日本共産党市議団は、コロナワクチン接種、学校統廃合などについて一般質問を行うとともに、議案については、補正予算や観光案内所の設置、旧立田社会福祉会館の廃止、個人情報保護の条例等に反対しました。

市が管理するワクチン接種会場で急逝(きゅうせい)された重大事案の危機管理は適切だったのか



河合克平議員

11月5日に市の施設である佐織保健センターにて、新型コロナウイルスワクチン接種会場で、ワクチン接種後に愛西市の市民(飯岡綾乃さん)が、急逝(きゅうせい)されるという悲しく重大な医療事故

11月5日から12月5日までの一カ月間は遺族へ対応なし

河合議員は、なぜ1カ月も対応が遅くなったのかを確認しました。
健康子ども部長は「会場の安全、接種体制について確認していた。医療事故調査の準備をしていく」と答弁。

が発生しました。河合かっぺい議員は市民の命を守るため、市が率先して、原因究明や、危機管理体制は、適切であったのかを検証する質問をしました。

備をしていた」と答弁。
遺族よりも市の事業を優先し、遺族に寄り添う対応はあつとまわしでした。

**〔河合かっぺい議員〕
市の最高責任者が、陣頭指揮をとることが必要だ**

市民の命を守り、市民が安心して接種できる状況にするために、早期に市の最高責任者が、陣頭指揮をとることが必要です。

河合議員が、市長の行動や考えを確認すると、市長は、「重大な案件で自身も重く受け止めている。情報の収集や内部での検討を行ってきた。市の対応してきた件についても真摯に受け止め、今後の医療事故調査委員会の検証結果も真摯に受け止めて行動していく」と答弁。

重大と受け止めるなら陣頭指揮をとるべきです。

**〔河合議員〕
市長は
弔問する考えはないのか**

医療事故調査は法律に定められています。市長は、遺族への説明に立ち会えるのか。人として遺族も望んでいる弔問をするのか5回にわたって質問しました。しかし、市長は「今後自分として責任ある行

「愛西市医療事故調査委員会」 集団接種の救命救急体制に問題



1月27日、第2回医療事故調査委員会が開かれました。
長尾委員長は、会議後の記者会見で、当時、接種会場にいた医師や看護師ら7人にヒ

アリングしたことを明かし「接種会場は救命救急という緊急性を想定した設営とはなっていないと言われても仕方ない」と指摘しました。

河合かっぺい議員は、12月議会の一般質問で、市の集団接種体制について、
①マニュアル通りにできていたのか。②当日のリーダーの確認や救護カーゴ(救急用品)の確認はしたのか。③ストレッチャーの使用ができないエレベーターのある2階の会場の設営に問題はなかったのか。の3点を質問。接種体制に問題があったと質しました。しかし、市は、問題があったとは認めませんでした。市は、医療事故調査委員会の検討状況から、接種体制が不適切であったことを認め、事故を繰り返さない体制を早急に構築し、市民の安心安全を確保していくことが求められます。

議会を傍聴して
心のこもった河合議員の質問が終わった瞬間、傍聴席におられたご遺族(飯岡英治さん)が「市長はなぜ線香一本上げにこれなんですか」と叫ばれ、この日の夕方、日永市長はされた。遺族に寄り添った河合議員の追求が一歩前進させたと、傍聴を目の当たりにして思いました。
(傍聴者)

動をしていく」と答弁。弔問するとは表明しませんでした。
※市長は12月7日の一般質問の終了後、遺族への弔問をおこなったことが中日新聞で、報道されました。

**ご協力ください!
大軍拡、大増税に
反対する請願署名**

岸田政権がすすめる、平和、いのち、くらしを壊し、国民に負担を押しつける大軍拡、大増税はやめて。大軍拡などを決定した「安保関連3文書」改定を撤回しての声を寄せてください

中学校を2校にする計画は撤回を



まの和久議員

まの和久議員は、小中学校適正規模等及び老朽化対策地区討協議会について市の対応を質しました。

まの和久議員は、子どもが減れば統廃合するという考えの究極が市内中学2校だと撤回を求めました。そして、小規模や少数でも学校を守ってしっかりと教育できる方向が必要だと教育委員会の見解を求めました。

教育部長は、「小規模中学校は教科担任の確保が困難となる。また、特に小規模中学校で見られる傾向がある課題を解消していくことが重要だ」と小規模校を問題視し、統廃合を進める答弁でした。

(まの和久議員) 統廃合問題は市民に知られていない。説明会の実施を

まの議員は、事後的に説明会を行うやり方では、結論の押しつけだ。素案の段階でしっかりと市民に知らせて考えてもらう必要があると説明会の実施を求めた。

教育部長は「ホームページや広報で知らせている」とやる気がありませんでした。

※立田・八開の地区協議会では、「保護者に理解されていない」と2月に説明会を実施することになりました。

文部科学省も認める 小規模校存続の検討を

平成27年に文部科学省が出した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」に小規模校を存続する場合の教育の充実という項目があります。小規模校を守りながら人口を増やしていくことを検討することが必要ではないでしょうか。

福祉タクシー制度改善

令和6年4月から

まの議員は、行き先を限定しない高齢者福祉タクシー制度の見直しの実施時期を質問。

放課後児童クラブの利用時間

来年度から午後7時まで延長

すべての公設児童館で実施

利用料は月額2000円

4月から、すべての公設児童館で、放課後児童クラブの利用時間を希望する児童に対して、午後7時まで延長します。

利用料は、月額2千円で、夏季休業等では料金が異なります。月に1回の利用でも、2千円かかるので注意が必要です。



保険福祉部長は、「令和6年4月から改正の方向で進めている」と時期を明らかに。

補正予算 基金7億4984万円を積立

(まの和久議員)

福祉タクシー

妊産婦も利用可能にせよ

津島市のように妊産婦の利用ができるよう求めました。市長は、「必要だとは思いますが、全体的な検討の中で進めたい」と答えました。

(まの和久議員)

巡回バス

佐織支所―海南病院ルート

総務部長は、佐織支所―津島市民病院―愛西市役所―海南病院ルートなどの検討は、巡回バス運行委員会で検討されると答弁しました。

佐屋中との統合に反対・やや反対 立北小は約7割、立南小は約6割



愛西市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策地区討協議会【立田地区】第4回会議に提出された「立田地区の小中学校の保護者アンケート」を紹介します。

【立田中と佐屋中が統合し、佐屋中に通うことについて】

賛成6%、やや賛成13%
反対45%、やや反対24%
〈立田北部小学校〉

賛成9%、やや賛成13%
反対36%、やや反対22%
○「通学距離が遠くなり安全上問題だ」が、立北小で9割、立南小で約6割です。

回答世帯数

【立田北部小学校】

71世帯 (回答率69%)

【立田南部小学校】

45世帯 (回答率43%)

八開地区保護者アンケート 統合反対37%、わからない25%



1月31日の市立小中学校適正規模等並びに老朽化対策八開地区討協議会では、未就学児や児童生徒の保護者に対し行ったアンケート結果が報告されました。

【八開中を佐織西中に統合することについて】

理解できるし賛成 21.7%
理解できないが賛成

13.0%
わからない
25.6%
理解できるが反対
25.6%
理解できないし反対
11.6%
その他
2.4%

○協議会での意見
わからないが多いのは問題だ。理解されていない。

- 補正予算総額10億4456万8千円の内
- 財政調整基金に5億2600万円、公共事業整備基金2億2334万円積み立て。
- 公共施設の光熱費9743万円を増額。
- 名古屋西流通センター民営化のため株式を1億6655万円で売却。
- ふるさと応援寄付金を2723万円増額し1億円を予定。
- 高齢者インフルエンザ予防接種を無料に。1820万円。
- 佐屋中学校体育館を車いす使用者が利用できるように504万円で改修します。
- 観光案内施設備品を603万円。